



～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～

## 若手教員対象に尾花沢独自の研修会を開催しました！



5月19日(金)に、尾花沢市内の5年目までの若手の先生方を対象とした研修会を開催し、19名の先生方に参加いただきました。

まず、教育長から「教育に携わる私たちの仕事って？」というテーマで、「課題解決力の育成」「人間性の育成」を通して子供の成長を楽しめる教師を目指すという内容で講義がありました。特に、井上ひさし氏による次の言葉が、教育の根本として先生方の印象に残ったようです。

「むずかしいことをやさしく  
やさしいことをふかく  
ふかいことを おもしろく…。」

また、正解の見えない混沌としたことの多い現代においても、教育の本質を見失わない力を身に付けていく必要があると感じられた先生も多かったようでした。

教員の「指導テクニック」に関する悩みもあるが…

1. 「**付きたい力**」の**明確化**に起因する内容がほとんどである
  - 「**育成を目指す資質・能力**」を明確にした学力向上、授業改善
2. 物事を部分的にみるが、**構造的にみる視点**が足りない
  - 「**森**」をみて「**木**」をみる学力向上、授業改善



構造的

森 (全体)

木 (部分)

付きたい力の明確化

教育基本法  
学習指導要領  
尾花沢市教育目標

学校教育目標  
めざす教員像  
教科、領域・単元の目標

学級目標  
教員としての個の目標  
本時の目標

教育指導室長からは、事前に報告いただいた参加者の悩みから見えてきたことを通して、「木をみて森をみず」の教育活動にならないようにすることについての講義がありました。具体的には、学力向上アクションプランを一人一人作成する活動を通して、付きたい力を明確にし、全体構想(森)をイメージして教育活動(木)

を行っていくことの重要性を実感していただけたようでした。

以下、参加された先生方の感想を紹介します。

「どうする？明日の授業」という目先のことで悩んでしまいがちだが、学校教育目標に立ち戻って考えることの重要性を実感できた。

アクションプランを自分で考えたからこそ、他の先生方の意見が参考になった。職場でも先輩に相談して取り組んでいきたい。

子供の「できた!」「わかった!」「そういうことなのか!」という声を今よりもっと多く聞きたい。

不安や心配を常日頃抱えていた気がするが、その不安が森や木のどの部分から発生しているかを見極めていきたい。

校種や境遇の異なる先生方と話をするのができてこれからの教材研究に対してのモチベーションがあがった。

他の先生方が、何年経っても悩み、学び続けていることを知り、改めて教員のすごさや魅力を感じた。

子供一人一人の成長、頑張りを認めることのできる教師を目指していきたい。

先生方は、担任力を高めるために、日々自己研鑽に努めています。真剣に耳を傾けるその姿に、子供たちに「楽しく生き生きと生活し、学力と社会力をしっかり身に付けてほしい」という切実な思いが伝わってくる熱のこもった研修会となりました。

【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課  
教育指導室長 工藤 雅史  
TEL 23-3330